

なんケア通信

第17回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成30年10月5日（金）18:00～19:15

会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参 加 者：39名（介護事業所関係者 14名、地域包括支援センター 2名、
調剤薬局 2名、御野場病院職員 17名、福祉用具事業所 2名、他2名）

メインテーマ：地域包括ケアシステム実現を目指した地域で暮らせる街づくり

演 題

「地域包括ケアシステムにおける歯科診療の役割について」

旭北歯科医院 理事長・院長 千葉 利昭 先生

平成30年10月5日(金)に「第17回なんケアの会」を開催致しました。今回も多数のご参加ありがとうございました。

本日は、旭北歯科医院院長の千葉利昭先生を講師としてお招きし、「地域包括ケアシステムにおける歯科診療の役割について」ご講演頂きました。

講演の内容は、①歯周病菌に関すること ②口腔ケアと摂食嚥下の関係 ③口腔機能評価 ④摂食嚥下の事例紹介 など、たくさんの写真やデータ、動画を交え、とても学び多い45分間でした。

歯周病菌が血液中に入り込むことによって、脳卒中、狭心症、心筋梗塞、糖尿病、低体重児出産、早産などに影響を及ぼすこと、また、唾液に混じり気管に入ると、気管支炎、肺炎などを引き起こすことも教えていただきました。さらに、近年の研究では、アルツハイマー病の悪性因子になることが明らかにされたようです。改めて歯周病菌の怖さに驚かされ、口腔ケアで歯周病菌をコントロールすることの重要性、「長寿の秘訣は口腔ケア」であるという認識を深めることができました。

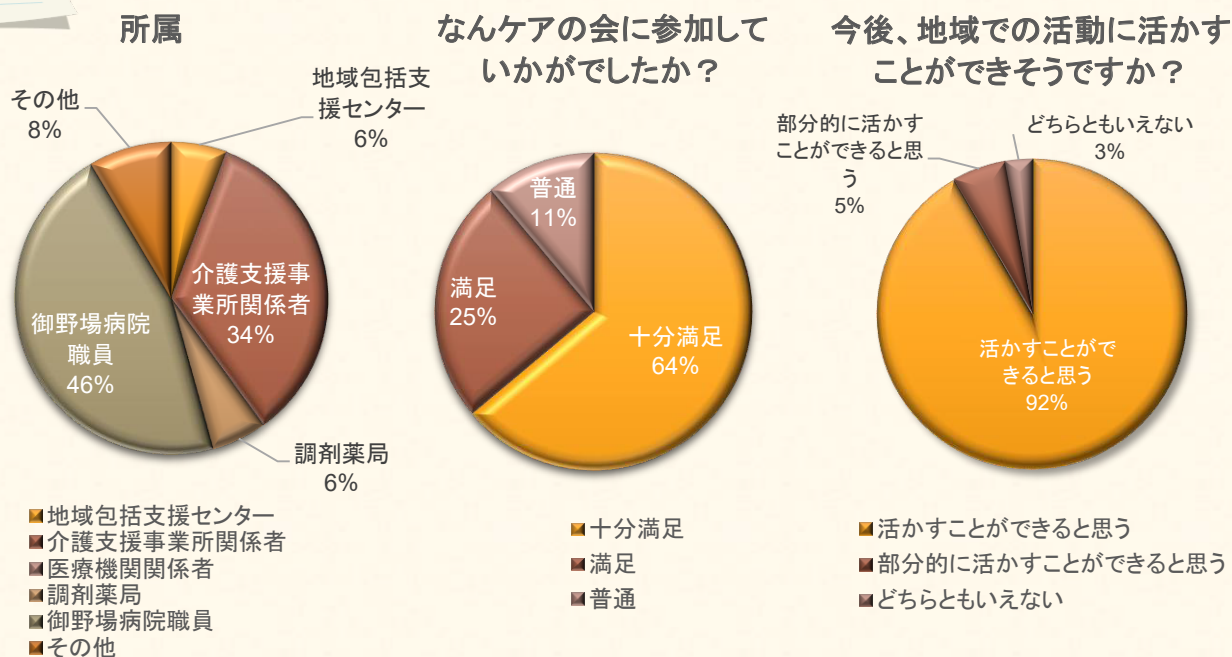
また、事例紹介では、初め嚥下は難しいとされた脳梗塞の患者様も、歯科診療の介入でリハビリを進めていくうちに、飲み込みができるようになり、食事も可能になったケースもありました。そのような患者様達は、笑顔がみられ、会話もできるようになったりと、明らかにQOLが向上していくことがわかりました。

開演の挨拶の中で、当院の皆河理事長が「人生の最期まで食べて幸せに暮らすことは、地域包括ケアの大きな目標のひとつ。」とお話しされました。本日の講演により、地域の皆様が少しでも長く食べ続けられるよう、摂食嚥下について理解を深め、食べるための支援の技術を高められるよう努めていきたいと強く認識しました。

地域包括ケアシステムにおいて、歯科診療との連携を深めることは重要です。講演の最後に、千葉先生から「在宅においても訪問歯科診療などを敷居が高いと思わずに、まずは秋田市歯科医師会に電話で問い合わせしてみてください。最寄りの訪問歯科医を紹介してくれます。こんなことで診療してくれるだろうか、ということであっても、何でも相談してください。」と心強いお言葉をいただきました。

次回は公開講演会となります。「秋田市の在宅医療・福祉・介護の現状と課題」について、秋田往診クリニック理事長の市原利晃先生からご講演していただく予定です。地域の皆様も多数のご参加をお待ちしております。

アンケートの 集計結果



回収率：92.3%（アンケート配布：39 名、回収：36 名）

会場の様子



皆様からの ご意見・ご感想

歯周病を防ぐことは、年代問わず大切なことであると改めて感じました。今日の学びを業務で生かしていきたいです。

地域包括支援センター

口腔ケアの重要性を更に感じました。訪問歯科診療の仕組みも知ることができ、大変勉強になりました。

御野場病院職員

ケアの方法など、日頃の対応の中でちょっとしたアドバイスなど出来ると感じました。また訪問歯科の活用も選択肢としていきたいと感じました。

介護支援事業所関係者

興味をもって講演をきくことができました。在宅でも、口腔ケアは重要な位置をしめていますし、悩みどころでもあります。もっと勉強しなければいけないと感じました。

御野場病院職員

次回開催の お知らせ

開催日時：平成30年12月7日 18:00～19:15
会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール